

浦和区自治会連合会

令和5年度 第6回 理事会 報告書

日時 令和6年3月19日（火）10時～12時
場所 浦和区役所 1階 第2会議室

1 開会

石井副会長が開会を宣言した。

2 会長あいさつ

藤枝会長より、昨年怪我をしてから長期間お休みをいただき、ご迷惑をおかけしましたとのお詫びがあった。怪我からも回復し本日から職務に復帰できましたので、よろしくお願ひしますとの挨拶があった。

3 理事会成立要件の確認

理事 18名中 17名出席 成立した。

4 議事録署名人の指名

元府趾地区の佐々木理事を議事録署名人に指名した。

5 区からの依頼事項

- (1) 人権政策・男女共同政策課より特設人権相談のチラシ回覧について依頼があった。
- (2) 浦和消防署より令和6年度防火訪問のチラシ回覧について依頼があった。なお、令和6年4月～9月に岸町1丁目～7丁目、高砂1丁目～4丁目を訪問し、10月～3月までを北浦和1丁目～5丁目を訪問するとの説明があった。
- (3) 防災課より令和6年度さいたま市総合防災訓練・防災フェアについて説明があった。
実施日時は9月1日で訓練会場は荒川総合運動公園で行うこと、また、今年度は輪番制で中央区、桜区、浦和区、南区のグループで、今後各自治会への参加協力を依頼する予定であるとの説明があった。
- (4) 都心整備課より浦和駅周辺まちづくりビジョンの今年度の取組みについて、活動レポート2023という資料を配布し、この資料に基づき報告があった。
- (5) 都市経営戦略部より新庁舎整備及び現庁舎地利活用の検討状況について、資料に基づきその状況について報告があった。
- (6) 浦和区高齢介護課より浦和区地域包括支援センター連絡委員の推薦について浦和区自治連から1名の推薦してもらいたいとの依頼があった。

- (8) 浦和区コミュニティ課より浦和区民まつり実行委員会委員の推薦について依頼があり、三上理事を推薦することで了承を得た。
- (9) コミュニティ推進課より自治会電子回覧事業について、前回の理事会において時間的な制約で説明が終わらなかったので、本日の理事会で再度説明があった。
最初、モデル地区の会長インタビューの映像を流し、その後結ネットの活用事例、能登半島地震における結ネットの発信状況等の説明があった。
それに対し、様々な意見が出たが、特に費用面で納得がいかない、無料になれば参加してもよい、全面的にデジタル化は難しいので当面は両立するのが良い等の意見が出た。
- (10) コミュニティ課より、次の2件について説明があった。
・さいたま観光国際協会より「さくら草まつり」のポスター掲示について依頼があった。
・埼玉県芸術文化振興財団よりランチタイムコンサートのチラシ回覧について依頼があった。

以上の依頼事項について了承した。

6 経過報告

- 1月23日（火） 浦和区自治連第5回理事会（市庁舎2階 特別会議室）
浦和区自治連新年懇親会（プリムローズ有朋）
- 2月 2日（金） さいたま市自治連第6回理事会（大宮区役所2階 大会議室）
- 3月12日（火） 浦和区自治連第6回正副会長会（浦和区コミュニティ課内）

7 各専門委員会からの報告

- (1) 事業委員会 秦野委員長より特になし。
- (2) 対策委員会 佐々木委員長より次の協議事項のその他で報告する。
- (3) 情報委員会 村田委員長より「自治連だより」について、既に各自治会に発送したとの報告があった。

9 協議事項

- (1) 表彰者の推薦について
・表彰者の推薦についてはすべての地区から事務局へ提出されているので、今回は議題としないこととした。
・石井副会長から総会については5月28日（火）プリムローズ有朋で開催を予定している。16時開会で17時閉会、その後17時30分から懇親会を予定しているとの説明があった。
- (2) 会長講習会のテーマについて
今回のテーマについて各理事に諮ったが、特に意見が出なかつたので、次回正副会で決定することで了承を得た。

(3) その他

- ① コミュニティ課長より例年行ってきた「区長と語る会」について、令和6年度からの移行案についての説明があった。

コミュニケーション課から、今までの「区長と語る会」は各自治会等からの質問、要望等を所管課へ照会し、その回答を区長が答弁するという形式であった。その質問、要望等の内容が区に対する要望ではなく、市に対する要望がほとんどで、本来であれば所管課が出席して対応すればいいが、区長が代弁する形になっていて、「区長と語る会」の本来の趣旨からずれているのではないかとの説明があった。それを見直して（仮称）「自治会と区役所の交流会」として開催し、それとは別に（仮称）「自治会質問・要望調査」として自治会からの要望等を区役所に提出し、所管課からの書面回答のみで会議形式は廃止するという案が提案された。

各地区で検討し、交流会として開催するか、質問要望に対する書面回答のみにするか、各地区的判断で行ってもらうこととした。

- ② 佐々木対策委員長より、避難所運営訓練の時、避難者は避難者カードに様々な項目について記載しなければならず、避難者カードを書くだけで多大な労力、時間がかかるので避難所は大変混乱することになる。そのため、前地自治会では地区内の全世帯に避難者カードを配布し、事前に必要事項を記載し自宅に保管してもらい、地震等発災時にはそれを持参して避難所に行けば書く手間が省け、スムーズな避難所開設ができるとの説明があった。各地区で検討してもらいたいとのことであった。
- ③ 能登半島地震に関連し、前地地区計画検討委員会では「地震はどこにでも突然起きる災害である」とのパンフレットを作成したので、その資料を各理事に配布し説明を行った。

10 閉会

高橋明副会長が閉会を宣言した。

令和6年3月26日 浦和区自治会連合会 副会長 石井桂太郎